



# 進路だより



H30年度 12月号

## ～ 2018年の締めくくりに迎えて ～

今年も残りわずかとなり、冬休みに入ります。年末年始はご家庭の都合もあると思いますが、2週間余りの期間をどのように過ごすか事前に計画を立てたうえで、しっかり学習時間を確保しましょう。

3年生はセンター試験までもう1か月を切りました。毎日懸命に勉強している様子がうかがえます。風邪・インフルエンザが流行していますので、うがい・手洗いで予防に努めてください。勉強時間と睡眠時間のバランスを取りながら、1日1日を大切に過ごしましょう。

1・2年生は、冬休みにしかできない勉強に取り組んでください。各科目で課題が出されていますが、ただ解いただけでは身に付いておらず、その結果「勉強したけど課題テストの点数は悪かった」ということになってしまいます。今月号は『冬休みの勉強法』として、進路委員が自身の苦手科目を克服するべく、各教科担当の先生方に質問をしています。以下の先生方のアドバイスを参考にして、皆さんも充実した冬休みを過ごしてください。よいお年を！

冬休みの勉強法 進路委員が各教科の先生にお伺いしました。

### 【国語】(曾我部先生)

Q. 評論文の読解が苦手です。

A. 模試ではスピードも大事です。時間配分を考えながら解きましょう。そのためにも、週末課題を実戦訓練と位置づけて、早く正確な読みを心がけてください。また、別冊のワークは大事です。論点のまとめ、文の流れの理解、メモの取り方の一例などの方法を学ぶ一助としてください。

### 【英語】(松本先生)

Q. 長文の精読が苦手です。

A. 1. 各段落の **First sentence** からその段落の内容を予測してみましょう。  
2. 文構造を正確にとらえる練習をしましょう。  
3. 1文1文にとらわれすぎず、内容の全体像を見るようにしましょう。

Q. 単語の覚え方を教えてください。

A. 目だけで覚えず、手を使って書き、発音しながら覚えると忘れにくいです。また、定期的に反復することが大切です。まぎらわしい語は語源を確認すると、混同しにくくなります。

### 【数学】(笹岡先生)

Q. 関数と不等式が苦手です。

A. 上記の2つの分野に共通するのは値の範囲。「その値がどのような範囲をとるのか」を厳密に考えることができれば苦手意識はなくなると思います。そのためには疑問を1つずつ解消していく必要があります。分からない箇所をそのままにせず、なんとかして「分かる」ようになりましょう。「分かる」がたくさん増えると「できる」に変わります。「できる」が増えるとそれが「得意」に変わります。

### 【化学】(目見田先生)

Q. 化学反応式が書けない。

A. イオン化傾向などをからめた化学式をきちんと書けるようにする。

Q. 応用問題と習ったことが結びつかない。

A. 基礎をおろそかにせず、一年の単元からやり直す。

## 【センター試験】

Q. センター試験に向けて、3年生へのメッセージ

- A 1. 時間配分をきちんと考えてスピードと正確性を身につけていく努力を直前までにしてください。リスニングは疲れている時間帯になりますが、問いと選択肢に早めに目を通す習慣をつけて取り組みましょう。
- A 2. センター試験は大学入試や人生の一つの通過点にしか過ぎぬものである。ビビることなく、未来の扉を開く時と思い、自信を持ってがんばれ！！

ご協力いただいた先生方、ありがとうございました。

苦手科目の克服法はいろいろあります。でも、克服したいと思って、勉強をやり始めることが第一歩です。冬休みはそのいいチャンスです。挑戦を始めましょう。

## 【報告】第4回教養アップ講座 ノートルダム清心女子大学 英語教育センター 調子 和紀 先生

12月6日(木)放課後に、調子和紀先生をお迎えして、「アクティブ・ラーナーになろうー英語学習が今より好きになるために」と題した講義を行っていただきました。参加した生徒の皆さんの感想を紹介します。

- ・自分は今までの勉強は「やらないかなあ」といった“やらされてる感”の強い勉強態度でした。しかし、今日の遺伝子の講義は内容も難しく、さらに英語でありながらも「なぜ？」という気持ちでのめり込むように授業に参加できました。今日のような勉強を楽しめるとか、不思議といった主体的な思いを忘れずに学習に取り組みたいと思います。
- ・講座中、調子先生は英語でよく説明されていて、外国で授業を受けているような新鮮な感じでした。先生のお話から、英語の予習を新しい単語を覚えなければ……などと考えるのではなく、その文章の内容を楽しみながらしていきたいと思いました。先生の「分からないから楽しい。トライすることが大切だ」という言葉が印象に残りました。自分が興味を持ったこと、またそれだけではなく、勉強面にも前向きに取り組み、自分の道、可能性を広げていきたいと思いました。グループでコミュニケーションをとり、しっかり考えることができるなど、とても充実した時間でした。

## 【報告】第5回教養アップ講座 京都大学大学院農学研究科 三木 健司 先生

12月10日(月)放課後に、三木健司先生をお迎えして、「花粉と宇宙人と人類進化」と題した講義を行っていただきました。参加した生徒の皆さんの感想を紹介します。

- ・「成層圏に生物はいるのか」という考えはとても興味深く、面白いと思いました。私自身、毎年花粉症に悩まされているので、今回の花粉、微生物の話はとても印象に残りました。飛行機や気球を利用して大気中に含まれている生物を採集するという、なんとも斬新で誰も思いつかないような研究がなされていて本当に驚きました。今回の講義を受けて、宇宙や花粉についての興味が一層深まった気がします。宇宙など未知の世界には謎が溢れていると思います。そのような謎を解き明かしていくということに魅力を感じました。私も生物学や医学に興味があるので、是非、京都大学で研究したいと思います。生物についての謎は日常の中にたくさん隠れていると思うので、興味があるものについて、徹底的に調べ尽くして謎を解明したいです。
- ・私は宇宙空間でも生きられる生物がいるかもしれないということに興味を湧きました。生物は環境に適応するために進化をするので、宇宙空間に適応した生物もいるかもしれないと思ったからです。もし、その生物を医療に応用ができれば人間の医療技術は凄まじいものになると思います。宇宙には無限の可能性が秘められていると改めて感じました。私は将来、海洋環境に関する仕事に就きたいと考えています。宇宙に謎が多いように、深海にも謎は多いです。深海には何があるかだけでなく、どんな生物がいるかということを知りたいので、宇宙の研究で得られたことを応用して、もっと深く潜ることができる技術を開発して欲しいと思いました。

## 第2回小論文コンテスト

1・2年生の皆さんは、第2回小論文コンテストに向けての課題が出されています。提出締切は1月8日です。力作をお待ちしています。